

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 141-8582
住 所 東京都品川区大崎一丁目 2 番地 2 号
氏 名 株式会社日本アクセス
代表取締役社長 社長執行役員
佐々木 淳一
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 10 条第 1 項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社日本アクセス		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区田辺新田 1 - 7		
該当する事業者 の要件	☒	規則第 4 条第 1 号該当事業者	
	☐	規則第 4 条第 2 号該当事業者	
	☐	規則第 4 条第 3 号該当事業者	
	☐	規則第 4 条第 4 号該当事業者	
	☐	上記以外の事業者（任意提出事業者）	
主たる事業 の業種	大分類	1	卸売業，小売業
	中分類	52	飲食料品卸売業
主たる事業 の内容	加工食品卸売業		
事業者の規模	☒	原油換算エネルギー使用量	2,777 k l
	☐	自動車の台数	台
	☐	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t - CO ₂

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度 ～ 平成30年度 (報告年度 平成30年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 5,107 t-CO ₂ (調) 5,016	(実) 5,689 t-CO ₂ (調) 5,587	(実) 5,655 t-CO ₂ (調) 5,554	(実) 5,619 t-CO ₂ (調) 5,519	(実) 4,954 t-CO ₂
削減率		(実) -11.4 % (調) -11.4	(実) -10.7 % (調) -10.7	(実) -10.0 % (調) -10.0	(実) 3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	延床面積		単位	t-CO ₂ /㎡	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	0.09133	0.1017	0.09415	0.1004	0.08859
削減率		-11.4 %	-3.1 %	-9.9 %	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	取扱物量の増加と、商品の更なる冷し込みが必要となったため、2015年度7月末より、冷凍庫の設定温度を-27℃⇒-30℃に変更した事、稼働冷凍機を2台増やした事などによりエネルギー消費量が増えたものとする。今後は扉の開閉などに気を配り、外気の進入を防ぐことによりエネルギー消費量を少しでも抑えていきたい。
第2年度	節電について、各センターにおいて、更なる意識づけをして頂き、特に身近な部分において外気の有効利用やエアコン等の温度設定など、取り組んだことなどが前年よりも抑えられた要因の一つだと考えます。近日中に、電力消費量メーターを事務所内に設置予定。
第3年度	電力使用量の抑制に努めましたが、猛暑の影響により、排出量は基準年度比で10.0%増加し、原単位は9.9%悪化した。この結果、目標排出量と目標原単位に届かなかったが、次期計画では空調設備の効率的な運用管理、各設備の保守・点検の強化や老朽設備の更新などにより目標を達成したい。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	☐ 外部機関の利用 ☐ 空調の運用管理 ☐ 庫内設備の維持・管理 ☐ 庫内設備の運用管理
	第1年度	☐ 外部機関の利用 ☐ 空調の運用管理 ☐ 庫内設備の維持・管理 ☐ 庫内設備の運用管理 ・ 外部コンサルタントによるアドバイス ・ 外気や昼光の有効利用。クールビズの実施 ・ 定期的な保守等により、非効率設備の見極め ・ ドア開閉管理の徹底や定期的な清掃を実施
	第2年度	☐ 外部機関の利用 ☐ 空調の運用管理 ☐ 庫内設備の維持・管理 ☐ 庫内設備の運用管理 ・ 外部コンサルタントによるアドバイス ・ 外気や昼光の有効利用。クールビズの実施 ・ 定期的な保守等により、非効率設備の見極め ・ ドア開閉管理の徹底や定期的な清掃を実施
	第3年度	☐ 外部機関の利用 ☐ 空調の運用管理 ☐ 庫内設備の維持・管理 ☐ 庫内設備の運用管理 ・ 外部コンサルタントによるアドバイス ・ 外気や昼光の有効利用。クールビズの実施 ・ 定期的な保守等により、非効率設備の見極め ・ ドア開閉管理の徹底や定期的な清掃を実施
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

なし

イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

種 類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	5,285	t-CO ₂
(調)	5,141	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等单位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎物流センター	川崎市川崎区田辺新田1-7	5229	その他の食料・食品卸売業	3,497 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	2
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等单位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--